

『DIMS通信』

Vol.29-1

2023.2.13



2月14日のバレンタインデーは、毎年雑誌などで特集が組まれるほど盛り上がりますが、本来の意味や由来を知っていますか？

恋する人だけでなく、チョコレートやお菓子好きな人にとっても心ときめくイベント。日本ならではの習慣やいまどきの楽しみ方、日本と海外の文化の違いなどを紹介します！聖バレンタインデー（セントバレンタインデー）とは、毎年2月14日に世界各地で「恋人たちの日」として祝われている、恋人や夫婦がお互いの愛を確かめ合う日です。日本では愛の贈り物としてチョコレートを贈る習慣が定着しているため、バレンタインデーの約1カ月前から限定や新作のチョコレートが街中に溢れ、あまーい雰囲気になります。

由来には諸説ありますが、広く知られている説を紹介します。

3世紀のローマ帝国皇帝・クラウディウス2世は、強兵策の一つとして兵士たちの結婚を禁止していました。これに反対したキリスト教のバレンタイン司祭は、命令に反し内緒で多くの兵士たちを結婚させていましたが、皇帝に知られ処刑されてしまいます。

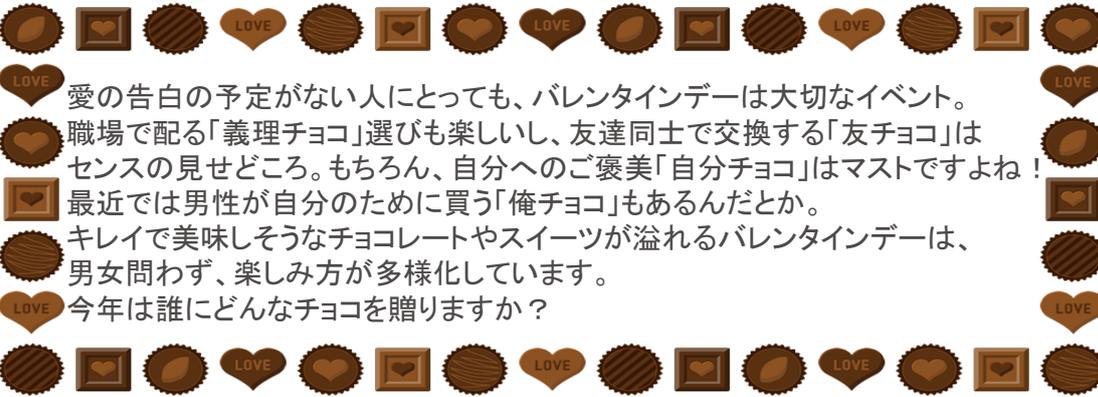
この殉教の日が西暦270年の2月14日で、バレンタイン司祭は「聖バレンタイン」として敬われるようになり、この日をローマカトリック教会では祭日としたそうです。

当初の聖バレンタインデーは司祭の死を悼む宗教的行事でしたが、春の訪れを告げるこの季節は愛の告白にぴったりであったことから、14世紀頃から若い人たちが愛の告白をしたり、プロポーズの贈り物をする日になったともいわれています。

日本で初めてバレンタインデーが紹介されたのは、1936年2月12日に神戸で発行された外国人向け英字新聞に掲載された広告です。神戸のチョコレート会社が「バレンタインデーには愛する人にチョコレートを贈って愛を伝えましょう」とアピールした、ロマンチックなマーケティング戦略でした。

全国的にひろがったのは1960年代頃のようにです。チョコレート会社がこぞって「この日は女性から男性へ愛を告白する日」と謳い、ハート形のチョコレートを発売しはじめました。

このキャンペーンが女性のこころを捉えて徐々に盛り上がり、現在のような一大イベントに成長したのです。



愛の告白の予定がない人にとっても、バレンタインデーは大切なイベント。職場で配る「義理チョコ」選びも楽しいし、友達同士で交換する「友チョコ」はセンスの見せどころ。もちろん、自分へのご褒美「自分チョコ」はマストですね！最近では男性が自分のために買う「俺チョコ」もあるんだとか。キレイで美味しそうなチョコレートやスイーツが溢れるバレンタインデーは、男女問わず、楽しみ方が多様化しています。

今年は誰にどんなチョコを贈りますか？

宮城県富谷市成田の「NAKAO CHOCOLATE HOUSE」に行って来ました。「ナカオ富谷店」の隣にチョコレート工房兼店舗が昨年12月16日オープン。ボンボンショコラやチョコレートを使用した焼菓子などを販売。ドリンクのテイクアウトもできますよ♡



価格は1個302円から356円です☆



1階が店舗となっており様々なチョコレートを販売しています！

NAKAO(富谷店)

Address: 宮城県富谷市成田8-2-9

Tel: 022-351-7752

営業時間

カフェ: 10:00-18:00 (L.O 平日17:00 休日17:30)

SHOP: 10:00-19:00

定休日: 水

駐車場有

web site: <http://nakao-shop.jp/index.html>

自分へのご褒美にもプレゼントにも重宝しそうなお店ですよ♪

次号はこちらのNAKAOカフェをご紹介します！